

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 ジューテックホールディングス株式会社  
 コード番号 3157 URL <http://www.jutec-hd.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 足立 建一郎

(氏名) 岩谷 昌弘

TEL 03-5765-6600

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	92,732	—	195	—	331	—	121	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	10.20	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注)当社は、平成21年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
22年3月期第3四半期	52,241	—	4,641	—	8.8	384.63	—	
21年3月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,582百万円 21年3月期 一百万円

(注)当社は、平成21年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)当社は、平成21年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び当第2四半期末までの実績はありません。

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	—	200	—	350	—	280	—	23.50

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注)当第2四半期連結累計期間までの業績予想については、参考として個別(株式会社ジューテック)の業績予想についても公表しておりましたが、当第3四半期より個別業績の開示対象となった当社は、純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ会社間での内部取引によるものとなるため、個別業績予想の開示は省略いたします。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 11,971,350株 21年3月期 一株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 56,260株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 11,915,483株 21年3月期第3四半期 一株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気対策の効果などにより、徐々に持ち直しつつあるものの、雇用不安や所得環境の悪化に対する懸念から、個人消費は弱含み、またデフレ傾向も顕在化するなど、先行き不透明感が拭えない状況での推移となりました。

住宅関連業界においては、住宅投資に対する減税処置の拡大など需要喚起につながる政策が順次施行され、一部に底打ち感がでてきたものの、大幅な減少となっている新設住宅着工戸数の影響などにより、住宅資材の需要は依然として弱含みであり、経営環境は厳しい状況が継続しております。

このような環境の中で当社グループは、オール電化関連商品や太陽光発電システムなど、環境に配慮した商品の拡販に努めるほか、適切な森林管理の促進を目的としたFSC認証制度及びPEFC認証制度それぞれの流通過程における認証を取得し、その認証商品の拡販に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は92,732百万円（前年同四半期比15,021百万円減）となりました。利益面は、引続き売上総利益率の向上と経費削減に努めてきた結果、営業利益は195百万円（前年同四半期比10百万円減）及び経常利益は331百万円（前年同四半期比108百万円減）となりました。また、本日開催の取締役会において決議されたホームセンター事業からの撤退に伴う事業整理損失引当金繰入額90百万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純利益は121百万円（前年同四半期は2,284百万円の四半期純損失）となりました。

※当社は、平成21年10月1日に単独株式移転により株式会社ジーテックの完全親会社として設立されました。株式移転の方法は単独株式移転であり、連結の範囲に実質的な変更はないため、参考として株式会社ジーテックの平成21年3月期第3四半期の連結経営成績との比較を前年同期比として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比して1,524百万円増加の52,241百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が7,067百万円増加した一方で、現金及び預金が4,862百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比して1,379百万円増加の47,599百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が4,200百万円増加した一方で、短期借入金が2,350百万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比して145百万円増加の4,641百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比して0.3ポイント増加の8.8%となりました。

※当社は、平成21年10月1日に単独株式移転により株式会社ジーテックの完全親会社として設立されました。株式移転の方法は単独株式移転であり、連結の範囲に実質的な変更はないため、参考として株式会社ジーテックの平成21年3月期第3四半期末の連結財政状態と比較して記載しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、6,777百万円となりました。

営業活動の結果、資金は1,676百万円の減少となりました。これは主として、仕入債務の増加額が4,226百万円及び未収入金の減少額が610百万円あった一方で、売上債権の増加額が7,464百万円あったことによるものであります。

投資活動の結果、資金は189百万円の増加となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入が223百万円あったことによるものであります。

財務活動の結果、資金は3,397百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金の純減額が2,350百万円、長期借入金の返済による支出が1,839百万円及び社債の償還による支出が1,700百万円あった一方で、長期借入れによる収入が2,318百万円あったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成21年10月30日公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、第2四半期連結累計期間までの業績予想については、参考として個別（株式会社ジューテック）の業績予想についても公表しておりましたが、今後、個別予想の開示対象となる当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ会社間での内部取引によるものとなるため、個別業績予想の開示は省略いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、工期のごく短いもの等については工事完成基準を適用し、その他の工事では当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積もりは原価比例法）を適用しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
 (平成21年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	6,794
受取手形及び売掛金	30,200
商品	1,995
未成工事支出金	658
その他	2,107
貸倒引当金	△1,843
流動資産合計	39,913
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	1,457
土地	7,990
その他（純額）	138
有形固定資産合計	9,586
無形固定資産	
255	
投資その他の資産	
投資有価証券	1,012
その他	2,575
貸倒引当金	△1,102
投資その他の資産合計	2,486
固定資産合計	12,328
資産合計	52,241

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成21年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	36,373
1年内償還予定の社債	1,040
短期借入金	2,850
1年内返済予定の長期借入金	807
未払法人税等	86
賞与引当金	115
事業整理損失引当金	90
その他の引当金	7
その他	1,211
流動負債合計	42,582
固定負債	
社債	160
長期借入金	3,332
役員退職慰労引当金	201
その他の引当金	42
負ののれん	24
その他	1,256
固定負債合計	5,017
負債合計	47,599
純資産の部	
株主資本	
資本金	850
資本剰余金	288
利益剰余金	3,367
自己株式	△14
株主資本合計	4,492
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	104
繰延ヘッジ損益	△13
評価・換算差額等合計	90
少数株主持分	59
純資産合計	4,641
負債純資産合計	52,241

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	92,732
売上原価	84,688
売上総利益	8,044
販売費及び一般管理費	
運賃及び荷造費	1,055
貸倒引当金繰入額	140
給料	2,766
賞与引当金繰入額	106
役員賞与引当金繰入額	4
役員退職慰労引当金繰入額	20
退職給付費用	175
賃借料	716
減価償却費	173
その他	2,690
販売費及び一般管理費合計	7,849
営業利益	195
営業外収益	
受取利息	21
受取配当金	20
仕入割引	244
不動産賃貸料	101
その他	103
営業外収益合計	491
営業外費用	
支払利息	108
手形売却損	32
売上割引	176
その他	38
営業外費用合計	355
経常利益	331
特別利益	
固定資産売却益	96
特別利益合計	96
特別損失	
投資有価証券評価損	33
のれん減損損失	28
事業整理損失引当金繰入額	90
特別損失合計	151
税金等調整前四半期純利益	276
法人税、住民税及び事業税	88
法人税等調整額	57
法人税等合計	145
少数株主利益	9
四半期純利益	121

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成21年4月1日  
至平成21年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	276
減価償却費	205
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△107
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8
受取利息及び受取配当金	△42
仕入割引	△244
支払利息及び手形売却損	141
売上割引	176
有形固定資産売却損益 (△は益)	△96
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,464
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△222
未収入金の増減額 (△は増加)	610
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,226
その他	704
小計	△1,704
利息及び配当金の受取額	38
仕入割引の受取額	218
利息の支払額	△115
手形売却に伴う支払額	△32
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△73
有形固定資産の売却による収入	223
無形固定資産の取得による支出	△12
投資有価証券の取得による支出	△13
投資有価証券の売却による収入	5
貸付金の回収による収入	25
その他	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	189
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,350
長期借入れによる収入	2,318
長期借入金の返済による支出	△1,839
社債の発行による収入	197
社債の償還による支出	△1,700
少数株主への配当金の支払額	△2
その他	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,397
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,884
現金及び現金同等物の期首残高	11,656
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,777

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

**【事業の種類別セグメント情報】**

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において、全セグメントの売上高の合計、営業利益金額の合計額に占める「卸売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。